

宇部市文化振興まちづくり審議会 概要

日 時：令和 8 年(2026 年)5 月 28 日（木）10：00～12：00

場 所：市役所 5 階 第 2 委員会室

出席者

【委員】

藤川 哲 真鍋 信也 縄田 也千 吉田 睦美
三浦 英恒 小林 裕貴

【宇部市】

観光スポーツ文化部 部長 青山 佳代 理事 白井 幸雄 次長 明德 義和
文化振興課 課長 徳田 泉 副課長 越智 英和
文化振興係 係長 中谷 尚子 係員 伊藤 瑞奈

【宇部市教育委員会】

学びの森くすのき・地域文化交流課 副課長 石川 健

《令和 8 年度第 1 回会議》

1 「文化振興ビジョン（第三次）」令和 7 年度取組実績と令和 8 年度取組計画について
事務局から説明

2 「文化振興ビジョン（第四次）」への改訂について

文化振興ビジョン（第四次）策定のスケジュールを事務局から説明

（会長）文化の目標について、数値的な目標指標がどの程度有効なのか、新しい指標が設定できないか。

・文化振興ビジョン（第四次）での目標指標の改廃を、今後の審議会で議論したい。

市民アンケートの速報値を事務局から説明

全体に関する意見

（委員）子育てなど、世代ごとに生活スタイルの傾向があると思うので、アンケート結果は世代ごとにまとめてほしい。

（委員）対策を考えやすくするため、20 代が学生なのか社会人なのか、長く宇部市に住んでいるかなど、属性がわかると良い。

文化活動に関する意見

（会長）昨年 1 年間で鑑賞した文化・芸術分野の催し・・・特になし 28、参加したい文化・

芸術活動・・・特に参加したいと思わない人 43%は、伸びしろ。

(会長) 日頃、継続的な文化・芸術活動をしている人・・・13%は国の平均値と同程度。

(文化庁の「文化に関する世論調査」で、鑑賞以外の文化芸術活動をしている人・・・13.6%)

(委員) 今後参加したい文化・芸術活動・・・特に参加したいと思わない人 43%だが、学生には好きなイベントに必ず参加する熱意がある。

能動的な参加者を増やすため、感動するきっかけ作りとして、人を惹きつけるプログラムの企画・実施が必要。

(委員) 文化は幅が広く、イベントを企画する際に、ターゲットを決めることに苦慮している。「知る・訪れる・参加する」の段階的なステップで、文化の向上を図りたい。

(委員) ポスターを文化施設に掲示しても、学生には見る時間がないため、学校の食堂など確実に目に留まる場所に掲示して周知すると良い。

彫刻教育に関する意見

(委員) 山口県では「山口プライド」を掲げ、地域への愛着心、地域連携、キャリア教育を融合させた教育を推進しており、見初小学校ではシビックプライドとして彫刻教育を行っている。

地域も彫刻教育への関心があり、学校と地域と一緒に学ぶ活動が増えているため、活動に彫刻教育を取り入れ、保護者や地域へ層を広げたい。

(委員) 野外彫刻を単なるアートではなく、環境改善をしてきた先人の協働の象徴として、宇部市のまちづくりの歴史と合わせて学習している。

アンケートの速報値から、彫刻教育の有効性が示されている。

渡辺翁記念会館に関する意見

(会長)・渡辺翁記念会館の認知度は 40 歳代以上が高いため、第四次ビジョンでは、次の世代に引き継ぐことを目指したい。

・渡辺翁記念会館のロビーを貸し部屋として活用できる・・・知っている人 14%だが、SNS などで活用方法を周知することで、知名度の向上ができる。

文化振興ビジョン（第四次）の主な取組に関する意見

全体

(会長) 文化振興ビジョン（第三次）の主な取組ごとに文化振興ビジョン（第四次）に引き継ぐべきか、委員が事前提出した意見を中心に、取組を整理し視認性を高める方針で審議する。

(委員) 主要な取組に絞り、小規模なものは記載せず実施段階での改善に委ねることで、理解しやすく整理するべきだ。

1－（１） 文化活動の推進

統合するもの

- （会長）・「行事への後援など団体等の活動支援とともに、各助成財団等の助成金情報などを提供」と「活動発表の場を確保（宇部文化連盟と協働開催の宇部市芸術祭など）」
- ・「音響や映像・舞台芸術などに携わる市内事業者等と連携した講演の開催など、地元の文化関連産業を支援」と「活動発表の場を確保（宇部文化連盟と協働開催の宇部市芸術祭など）」

削除するもの

- （会長）・「アーティストの滞在型創作活動（アーティスト・イン・レジデンス）などや、市民とアーティストとの交流を促進」
今年度の実施予定がなく、委員から引継ぎ不要の意見が多い。
- ・「オンライン配信など文化事業での非接触化を支援し、ポストコロナ社会での「新たな日常」に対応」
取組が小規模のため。状況により臨機応変に復活することもできる。

削除しないもの

- （会長）「関係機関と連携し、渡辺翁記念会館や都市型ホテルなど大型会場での文化事業やコンベンションなどを誘致」
アンケート速報値では、文化と観光を結びつけて考えている市民が多く、また、実績値の推移を確認できるため。

1－（２） 文化・アート人材の育成

削除するもの

- （会長）・「文化活動団体や宇部市文化創造財団と連携したアートマネージャー養成講座を開催し、文化と市民・社会をつなぐアートマネジメントを実践できる人材を育成」と「アートマネージャーが主体となった、文化事業の開催を支援」
実績がないため。
- ・「うーばー及び修了生の活動拠点の設置を支援」
新規設置ではなく、既設利用の実績であり、また、人的なコミュニケーションを通じて対応できるため。

2－（１） UBE ビエンナーレの推進

削除するもの

- （会長）「「UBE ビエンナーレ」の会場については、ときわ公園だけでなく、中心市街地等での開催も検討します。」
今年度の取組計画がないため。

削除しないもの

(会長)「「UBE ビエンナーレ」を継続的に開催するため、彫刻以外の多様なアートに触れる機会を創出」
昨年度実績があり、今年度も取組計画があるため。

2－（２） 彫刻企画展等の開催

削除するもの

(会長)「ものづくり体験のワークショップを、対面のほかにオンライン配信で作家と交流できるよう開催するなど、ポストコロナ社会における「新たな日常」に対応」
ポストコロナの言葉が入っているため。

2－（３） 彫刻とアートの教育の推進

改廃なし

2－（４） 彫刻によるまちづくりの推進

文言を変更するもの

(会長)「「緑と花と彫刻のまち」にふさわしい、環境との調和や景観にマッチした作品の選定とともに、誰もが親しみやすく鑑賞できるような作品配置を行う」
「再配置」の文言を追加する。

削除するもの

(会長)「新庁舎周辺に宇部市のまちづくりの歴史や特徴を表現したストーリー性のあ
る彫刻の再配置を行い、彫刻を活かした質の高いまちづくりを推進」
新庁舎が完成し、現時点で区切りがついていると判断されるため。

3－（１） 渡辺翁記念会館・文化会館の整備等

削除するもの

(会長)「渡辺翁記念会館の耐震改修及び空調設備改修等の大規模修繕の検討を行うた
め、文化庁と協議しながら「保存活用計画」を策定」
策定が完了しており、今後の実行方法が第四次ビジョンの課題であるため。

削除しないもの

(会長)「文化会館の耐震改修及び空調設備改修等の大規模修繕を実施」と「文化会館
の大規模修繕に合わせて、施設・設備の長寿命化改修を実施」
改修には終わりがなく、今後も続くため。
(委員)「駐車場不足のため、民間の駐車場の活用や JR 宇部線・市営バス等公共交通機
関の利便性向上のため交通事業者等と連携したイベントを開催」

渡辺翁記念館と文化会館の行事が重なると、深刻な駐車場不足が発生する。両施設の将来的な利活用を見据え、永続的に解決するための検討事項であるため。

4－（１） 文化財の保存・活用の推進

統合するもの

（会長）「宇部南蛮音頭保存会との連携を強化し、南蛮音頭の普及と継承を推進」は、「市民団体と共同、連携した、文化財展等を開催し、本市の歴史や文化へのより一層の興味・関心を高め、貴重な地域資源である文化財史料の活用を図り、文化財への愛着心を育成」

宇部南蛮音頭保存会との連携は、市民団体等との共同の一部として整理。

（会長）「宇部市デジタルミュージアム」の周知とともに、活用を促進」と「文化財の保存活用を目途とした広報活動を推進」

デジタルミュージアムを保存活用の周知方法に位置づける。

4－（２） 宇部市史の編さん

削除するもの

（会長）「宇部市 100 年の歴史を振り返る絵本を作成し、幅広い世代に宇部市の歴史に親しんでもらうことにより、シビックプライドを醸成する教育を推進」作成が完了したため。

追加する取組

（会長）文化活動団体の活動への支援として、ヨーロッパを参考に、行政が社会参加の機会を提供し、高齢者が引退後も活動を継続できる環境を整備する。

■審議全体への意見

（委員）・取組を統合した際、その予算も統合するのか。

（事務局）ビジョンを進めるうえで、必要な予算措置を検討していく。

・「宇部市 100 年の歴史を振り返る絵本を作成し、幅広い世代に宇部市の歴史に親しんでもらうことにより、シビックプライドを醸成する教育を推進」は、文化振興ビジョン（第四次）の取組に記載が無くても、取組自体は継続すると認識している。

（委員）・以前は情報やイベントが少なく、1つのイベントに多くの人が集まったが、現在は SNS 等の普及により価値観が多様化し、情報も溢れているため、集客が以前よりも難しくなっている。

・主な取組に文化活動団体の活動への支援を追加することは、高齢化社会に対する

取組として良い。

(委員)・活動状況などから取組を精査したのは良い。

- ・現在、茶道や華道など伝統的な文化活動の担い手は、80代が中心となっており、高齢化が深刻な課題。

また、趣味の多様化により、若年層が伝統的な習い事に触れる機会や認知度が低下しており、次世代への継承が難しい状況が緊急の課題。

(委員)・指標目標について、数値目標があるとわかりやすいが、結果だけではなくプロセスを重視して評価すべき。

- ・彫刻、花、緑など、宇部市がこれまで培ってきた文化を、次世代にどうつなぐかが重要だ。文化活動の高齢化が進む中で、文化振興ビジョン（第四次）を次世代へ種をまく5年間にしたい。

(委員)・文化振興ビジョン（第三次）では、オンラインなどのデジタル化は、コロナ禍の対策としてだが、デジタル発信を通じて宇部市の文化に興味を持つ人を増やし、移住者の獲得につなげることで、文化振興や地域活性化に貢献できる。